

CK-MB

クレアチンキナーゼアイソザイムキット

クレアチンキナーゼ (CK) はクレアチンとクレアチンリン酸との間を触媒する酵素で、構造上 2 個のサブユニットからなる分子量約 82,000 の蛋白です。

アイソザイムとして細胞上清分画に存在する MM、MB、BB とミトコンドリアに存在する mCK (ミトコンドリア CK) の 4 種が知られており、MM は骨格筋に、MB は心筋に、BB は脳や平滑筋に多量に含まれることから、血清 CK 活性が上昇した際にはアイソザイム分析を行うことで損傷臓器がある程度推測できます。

CK-MB は MYO と同様に壊死 (障害) 心筋から逸脱しますが、リンパ流を介して血液中に出現するため急性心筋梗塞発症後 4 ~ 6 時間と、MYO から遅れて異常高値を示します。

CK-MB は MYO と比較し心筋への特異性が高く、そのピーク値は心筋壊死量とよい相関を示すので梗塞の大きさを見積もることができます。また再灌流の指標、経過中の再梗塞の検出にも有用であることが知られています。

仕様

試薬構成

免疫反応試薬	Eテスト「TOSOH」II (CKMB)	(100テスト/箱)
標準品	Eテスト「TOSOH」II (CKMB) 標準品セット	(6濃度、各2本/箱)
検体希釈液	Eテスト「TOSOH」II (CKMB) 検体希釈液	(4mL x 4本/箱)
対象検体種	血清、ヘパリン血漿	
測定時間	免疫反応時間 10分 (1ステップサンドイッチ法)	結果報告 約20分
測定範囲	0.5 ~ 500 ng/mL	
健常人参考値	< 3.7 ng/mL	(社内データ)